

# 南京都病院ニュース



2017 夏号  
No.47

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News

## 外来管理治療棟建替等 整備工事について2

企画課長 西村 和彦

昨年より開始した新外来管理治療棟の工事も工期の半分以上が過ぎ、建物の基礎が完成し、骨格が出来てきました。今年冬のオープンに向けて現在工事が進んでいます。オープンからしばらくの間は仮設玄関での使用となりますが、現在の外来管理治療棟の解体が終わると下図のような玄関周りが現れる予定です。



玄関イメージ



- 建物概要 外来管理治療棟 (S造 地上3階建 延約7000㎡)
- 1階 各科外来、放射線科、医事室、地域連携室  
売店
- 2階 手術室、中央材料室、薬剤部、検査科  
リハビリテーション科
- 3階 医局、事務室、会議室、研究室 等

内装イメージ



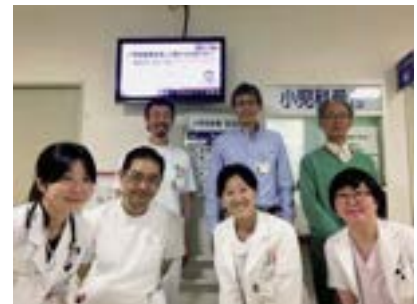
病院建物全体パース図



## 小児科スタッフがさらに充実しました

小児科医長 徳永 修

当院では呼吸器疾患や神経難病の分野において専門性の高い医療の提供に努めておりますが、小児科においても慢性疾患を中心とした成育医療及び障害児（者）医療の分野で地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りました。近年は小児科スタッフの数も徐々に増加し、今春からは小児神経を専門とする齋藤景子医師が新たに加わり、宮野前院長をはじめ、経験豊かな7人の小児科スタッフを揃えることが出来ました。今回は当院小児科が特に得意とする専門的な小児医療分野について紹介させていただきます。



7人の小児科スタッフです  
（後列 左から 吉松、徳永、宮野前  
前列 左から 甲斐、木村、齋藤、吉岡）

月～金曜日午前的一般外来において、気道感染症をはじめとした小児急性疾患に対応しているほか、午後開設している専門外来（小児アレルギー・呼吸器、子どものこころとからだ、小児神経・発達、小児肥満、予防接種外来）では当院小児科の独自性を発揮した専門的な小児医療を提供しています。

1. **小児アレルギー疾患診療**（担当；宮野前、徳永）；昭和50年代初めより小児アレルギーを対象とする専門的な診療を継続しており、現在も種々のアレルギー疾患ガイドラインに添った標準的医療を提供しています。
2. **重度障害児（者）を対象とした診療**；重症心身障害児（者）病棟で長期入院生活を送っておられる方々の健康管理・合併症治療を担当しているほか、地域で生活されている重度重複障害児（者）を対象とした診療、短期入所サービスにも積極的関わっています。
3. **心身症や不登校など、子どもの心に関連する課題への対応**（担当；木村、吉松）；心理的な、或いは発達上の課題を背景に、頭痛や腹痛などの身体症状に悩んでいる子どもたち、不登校傾向に至った子どもたちの診療に取り組んでいます。まずはゆっくりと時間をかけて向き合い、その訴えを真摯に受け止めることに努めています。
4. **小児神経疾患診療**（担当；齋藤）；けいれん性疾患、精神運動発達に課題を抱える子どもたちを対象とした専門的診療に取り組んでいます。発達障害の可能性が疑われる場合には当院臨床心理士が各種発達検査を実施し、その評価に役立てています。
5. **小児呼吸器疾患診療**（担当；徳永）；遷延する咳嗽の診断・治療、重度障害児（者）を対象とした呼吸管理、小児結核に対する専門的診療に取り組んでいます。
6. **小児肥満診療**（担当；徳永）；肥満傾向にある子どもたちが劣等感を抱くことなく、肥満解消に向けた取り組みを継続できることを第一の目標としています。毎年、夏休み期間には当院に隣接する京都府立城陽支援学校と連携し、小児肥満スクールを開催しています。
7. **小児内分泌疾患診療**（担当；甲斐）；低身長や思春期早発傾向など、小児期の内分泌疾患が疑われる症例にも丁寧に対応しています。
8. **予防接種**（担当；吉岡）；食物アレルギーなどの基礎疾患を持つため、一般の医療機関での対応が困難なお子さんにも積極的に対応しています。海外渡航を目的とした予防接種に対応しています。

限られた小児医療の分野ではありますが、地域で生活している子どもたち、障害児（者）のみなさんが、少しでも安楽な健康状態で生活できるように努力して参ります。今後もよろしくお願い申し上げます

## SASと合併症について

内科医長 角 謙介

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は読んで字の如く、寝ている間に息が止まる病気です。

この病気を持っている日本人は300万人以上と言われ、高血圧1000万人、糖尿病320万人、高脂血症210万人（厚生労働省2014年統計）と比べても大差はなく、決して珍しい病気ではありません。

特に中高年の男性に多く見られますが、若い方や女性にみられることもよくあります。

SASの患者さんは、寝ているときに喉の奥の筋肉がゆるみ、空気の通り道を塞いでしまうということが起こります。これが睡眠時無呼吸です。長い人で1分ぐらい息が止まります。また重症のSASの患者さんでは、この無呼吸が一晩で300回から400回ぐらい起こります。

問題になるのは、①息が止まって体の中に酸素が入ってこなくなる。②息が止まるたびに目が覚める反応が起きて眠りの質が悪くなる。という二点です。

①によって、体の中の酸素を多く必要とする臓器（心臓・脳など）にとっても負担がかかってしまいます。SASのある患者さんは、心筋梗塞や脳梗塞になってしまう危険性が健常な方より3~4倍高いと言われています。また常に緊張状態にさらされるので血圧も上がってしまい、高血圧の隠れた原因としても近年注目されています。

②によって、昼間の眠気が現れます。特に問題になるのは居眠り運転です。

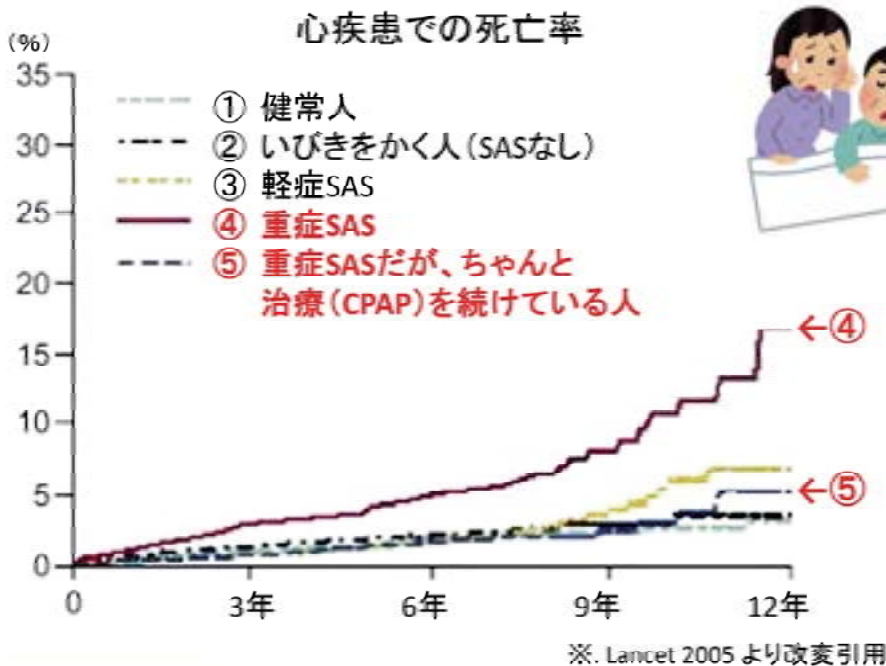
健常者に比べてSASの患者さんでは、交通事故のリスクが7倍にもなるという報告もあります。また模擬運転装置を用いて調べると、SASの患者さんは、まっすぐ歩けないぐらい沢山飲酒した人よりもハンドル操作のミス回数が多かったという驚くべき研究もあります。

他にも胸焼けや夜間の頻尿など、意外な症状がSASの合併症として知られています。

南京都病院では、SASの診療をしています。担当は呼吸器科の坪井と角です。

通常一泊二日入院で検査を行い、治療必要なSASと判明すれば日を改めてさらに二泊三日入院でCPAP（シーパップ）という鼻にマスクを密着させて空気を送り込む治療を導入します。これを在宅でもしっかり継続していただくと、SASの合併症がぐんと少なくなります（図）。

夜中に息が止まることがあると御家族に指摘される、昼間に眠たくなってしまふ、などの症状がある方は一度SASを考えて当院を受診されてみてはいかがでしょうか。（お電話で受診の相談をいただくと待ち時間の少ない曜日や時間帯をご案内できます。）



## 地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

患者さんとともに歩む地域医療を目指して

### おやいづ医院

内科

呼吸器科

小児科

院長 小柳津 治樹 先生

当地で父親が診療所を開設してから65年経ちます。当時は、近隣に病院が少なく大変苦勞したと聞いておりました。私が継承したのは平成16年です。男3人兄弟の末っ子で、まさか私にお鉢が回ってくるとは夢にも思いませんでした。

平成5年に関西医科大学を卒業し、卒後は大阪赤十字病院で内科臨床研修および血液内科、呼吸器内科レジデントとして勤務しておりました。母校の大学院に入学し、病理学教室で、肺癌細胞株を用いた抗癌剤の研究や、肺気腫モデルマウスを使用して骨髄移植による肺胞再生の実験に従事しておりました。その後、大学病院および出向病院で、呼吸器内科医として勤務しておりましたが、諸事情により比較的、急なバトンタッチとなりました。

南京都病院の先生方には大変お世話になっております。特に呼吸器科の先生方には頭が上がりません。プロフェッショナル揃いで非常に心強く思っております。カンファレンスにも力を入れておられ、大変勉強になります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。さて、いわゆる2025年問題という乗り越えなければならない壁が立ちだかっています。この難局に対して、介護施設等を含めた医療機関の緊密な連携体制の構築、患者情報の迅速な共有化等が解決の鍵になってくると考えております。皆が知恵をしまり立ち向かって行かなければなりません。南京都病院のお力添えを期待するとともに、病院のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。



■ 京都府宇治市伊勢田町南山52-6  
 ■ TEL 0774-41-6013  
 ■ FAX 0774-41-6013

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	△	○	○	○	×
午後診 16:00~19:00	○	○	×	○	○	○	×

■ △は訪問診療のみ

※木曜日夜診のみ 16:30~19:30

■ 休診日 日曜日・祝祭日



住み慣れた居宅で安心して在宅療養ができるようにサポートします

## 医療法人八仁会「あおぞら」訪問看護ステーション

訪問看護

「あおぞら」訪問看護ステーションは、長年にわたり久御山町唯一の訪問看護ステーションとし、主治医の先生方と地域住民の皆様のご理解とご指導により昨年20年を迎えることが出来ました。

当ステーションは、看護師4名で24時間緊急時訪問およびターミナルケアにも対応する体制を整えております。ご本人やご家族の思いを最優先に『住み慣れた居宅で安心して療養生活が出来る』ために、最善のサポートをさせていただきます。

私たちはいつもご家族に助けて頂き、日々の業務が出来ております。ご家族と一緒にターミナルケアで最期に関わらせて頂いた時、ご家族より「共に戦う戦友やったね。ありがとう」と、言葉を掛けて頂いたこと、亡くなるその時まで音楽家のお孫様がバイオリンを演奏され、病院や施設ではできない温かい看取りができたこと、色々と経験したことが大変励みになっております。主治医との連携を取りながら、最期の日々をご本人とご家族のお互いの思いに寄り添いながら過ごすことができるのが『在宅療養』の良いところです。引き続き主治医、ケアマネージャと連携を図り、ご本人、ご家族が安心して在宅療養ができるよう全力でサポートをさせていただきます。



■ 久世郡久御山町島田堤外  
 31番地の24ヶアモール  
 ■ TEL 075-631-8860  
 ■ FAX 075-631-8986  
 ■ 営業日・営業時間  
 平日 午前8:30~午後5:00  
 土曜日 午前8:30~午後0:30  
 定休日 日曜日・祝日  
 年末年始休日 12/30~1/3  
 ※24時間緊急対応可能



## 栄養管理室のお仕事

栄養管理室長 須賀 勇和

### スタッフ

管理栄養士 4 名、調理師 3 名、事務員 1 名、ほか、業務委託により委託職員 28 名が従事しています。



月 1 回の特別食

### 入院中の食事

入院患者さんの食事は、医師から病状に合わせた指示により、栄養管理室で色合い、季節感を取り入れ適切に調理した食事を、適温にて提供しています。

食事の内容は

一般食・小児喘息食・重心食・軟菜食・分菜食・糖尿病食・心臓病食・肝臓食・膵臓食・脂質異常症食・腎臓病食・貧血食・潰瘍食・高血圧食・化学療法食などのほか、様々な食物アレルギーにも対応しており、医師の指示に基づき全て当院で調理しています。

完全除去食にも対応出来るよう専用の調理機材、食器、調味料等を常備しています。

他にも、当院では様々な状況に合わせて個人対応をしています。

### 栄養相談

管理栄養士が病状や生活環境に合わせた食生活を患者さんと共に考えて参ります。

☆個人指導内容（入院・外来）

糖尿病、心臓病、腎臓病、高血圧症、脂質異常症、肥満、やせ 他



栄養相談の様子

### チーム医療

褥瘡チーム・緩和ケアチーム・栄養サポートチーム・呼吸器リハビリカンファレンスチーム等、様々なチーム医療に参加し、入院中の患者さんの栄養管理に関わっています。また、必要に応じ、体内の筋肉量や体脂肪、基礎代謝、体内水分量が計測できるインボディーを使用し、栄養評価を行っています。



インボディー検査

## 健康フェアを開催しました

5月27日(土)に、地域の皆さんの健康増進に役立てていただくことを目的に、アルプラザ城陽店で「健康フェア」を開催しました。当日は、骨密度測定・血圧測定・呼吸機能検査・血管年齢・もの忘れチェックなどを行いました。また、キッズコーナーでは白衣を着たお子さんたちが、城陽市のゆるキャラ「じょうりんちゃん」といっしょに記念撮影をし、お子さんたちのかわいい声でなごやかな雰囲気となりました。当日は、過去最高の1,700人の方がお越しいただき、大盛況となりました。

当院からは約30名のスタッフが参加し、普段とは違う環境で新鮮な気持ちで対応することができました。次回は秋を予定しており、地域の皆さんの健康増進に役立つよう「健康フェア」を続けていければと思います。



各種検査・相談は大盛況!



測定コーナーの様子



じょうりんちゃんとポーズ

健康フェアスタッフ一同



### 交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

\*...各駅より送迎車あり

### 診療科のご案内

- |            |              |           |
|------------|--------------|-----------|
| ● 呼吸器科     | ● 神経内科       | ● 小児科     |
| ● 内科       | ● 外科         | ● 消化器科    |
| ● 呼吸器外科    | ● 循環器科       | ● 整形外科    |
| ● 皮膚科      | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科    |
| ● 麻酔科      | ● 歯科         | ● 耳鼻いんこう科 |
| (入院患者のみ対象) | (入院患者のみ対象)   | (休診中)     |

## 独立行政法人国立病院機構 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原11番地  
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765  
URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療  
連携室

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
- 直通FAX 0774-58-0270
- E-mail [renkei@mkyoto.hosp.go.jp](mailto:renkei@mkyoto.hosp.go.jp)